

開基貞宗院様四百年遠忌

平成20年4月19日

1. 當山開基貞宗院 四百年遠忌

法号 貞宗院殿英譽珠光大禪定尼
命日 1609年4月19日(慶長14年)行年は、不明です。70歳を少し越えられたお年ではないかということですが、当時としては、長命であったと思われます。



2. 略歴



ご出身は、静岡県掛川市、武家の出身であったそうです。

娘お愛の方(西郷の局,宝台院)が、戦の陣中の接待役を務めていた際に、家康公に見そめられ側室となり、その後、秀忠公をお産みになりました。お愛の方は、静岡県静岡市葵区の宝台院にお眠りになっています。

晩年は、お役目(江戸城内にて女中の取締役)を引退された後、この地を幕府から拝領され、隠居生活を送っていました。所領は20町歩あり、石高210石であったと伝えられています。寺から柏尾川あたりまでの一帯は、当時貞宗寺の所領であったそうです。

生前は、大長寺第4世源栄上人に帰依され、籠に乗り、足繁く大長寺にお通いになられていたそうです。その時お乗りになった籠番や馬番の住居が現存する長屋門です。

当時のお屋敷は、現在の池の裏にある梅林の場所にあったそうです。

貞宗院様の肖像画は、400年遠忌に際して、お檀家の「寺内鉄雄さん」にお描き戴いたものです。その他先代住職の肖像画など数点は、寺内さんにお描きいただいています。寺内さんは、岡本太郎画伯と親交があったそうです。

3 . 貞宗寺の開山



没するに際して、源栄上人を開山上人に迎え、寺が建立されました。（没後2年に開山）

その後、貞宗寺は、徳川家と直接の関係があったため、大長寺より本末の関係を解消したい旨の申し出があり、その後、貞宗寺は増上寺と本末の関係を結び直したようです。大長寺にはそ

の時のいきさつを記した書状が現在も残っているようです。

貞宗寺にも末寺2カ所がありました。現存はしていません。

1つは、関谷にあった関谷地蔵堂2つは、青少年会館（大船観音近隣）にあった小林寺（しょうりんじ）です。廃仏毀釈の時に取り壊されました。

4 . 貞宗院様のお膳とお墓



写真は、貞宗院様が使われていた食膳・食器です。お膳は、一の膳から三の膳まで残っており、食器もすべて残っています。

施餓鬼法要の時には、三の膳を毎年阿弥陀様へお供えするお膳として使っています。今年の施餓鬼法要の時

は、注意して見てください。

貞宗院様の墓所は、「御霊屋（おたまや）」です。墓地の入り口にある銅板葺きの屋根の建物です。現在のものは、再建したのですが、元々あった御霊屋は、内部の壁にすばらしい極楽浄土の壁画がありました。しかし、関東大震災で、建物は崩壊してしまいました。お墓参りにお立ち寄りの際には、ご一緒にお参り下さい。



5 . 貞宗寺の境内（四季の花）

貞宗寺には、四季折々の花が境内にあります。

梅・ハクモクレン・サラサモクレン・桜・ミモザ・つつじ・ヒマラヤ雪の下

ショカツサイ・スイセン・ロウバイ・つばき・皇帝ダリア・アジサイ・甘茶

ハナズオウ・ミツマタ・キンモクセイなど数え上げたらきりが無いほどたくさんの花に囲まれた閑静な場所です。季節の花をご覧になりながら、ぜひ皆様お墓参りをさせていただきたいと存じます。

